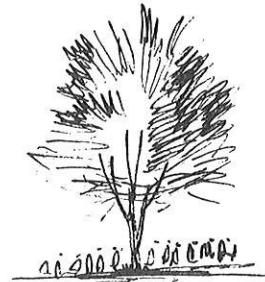


# 光の子



No.136 2009.6.1

●年間聖句 自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。わたしは主である。  
(レビ記19章18節)



「みんなならんでお花もならんで」

挿絵・中島英子

異国の船

エイプリルフール丹田といふところ

竹の秋湯宿に小さき文机

草餅に日の香風の香ありにけり

五月来る異国の船を桟橋に

黄金週間弓なりの水平線

くれなるを支へ切れずに薔薇崩る

衣更へて銀座に潮の匂ひかな

俳人 黛 まどか

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

このところ「やすらぐ」ということを考え続けている。やすらぐといふことはどういうことだろう。どういう心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

## エッセイ

### あしもと

「もしもし、島崎だけど。」と電話がかかってきた。高校時代の同級生島崎庄司君からである。「やつと本になつたよ。これから届けるから。」と言う。「道、分かる?」と聞くと、「何とか行つてみるよ。あそこを斜めに入るんだつたなあ。」「そう、斜めに入つてくると桜が今、満開だからわかるよ。」「そうか、じゃあね、十時過ぎには行けると思うよ。」という訳である。

やつと本ができる「これは、島崎君と私の間の古い約束のことである。彼は十数年前に、勤めていた仕事をやめた。その頃、彼は、自分の住まいの近くに生える雑草に注目し始めたのである。

植物学者でもない彼は、学問的に追究するというのではなく、身近かな雑草を一つ一つ観察し始めた。そして、それを写真に納め、スケッチをした。

ところが、その草の名前がわからない。書物で調べてみると、子供の頃から見慣れた雑草に、当然のことながら、みんな名前がついているのである。今まで余り気にもとめなかつたことが、少

しづつわかつてきたのである。そして、こちらが知らなかつただけで、それらの草々が、小さな生命体を精一杯輝かせ、生きて、そして土に返つていくのである。

そんなことを観察していくと、いつの間にか童心がよみがえつて、次第次第に雑草の世界に引き込まれていつたのであった。

その頃、私は何かの用事で彼の家に立ち寄つた。そこで、彼のコレクション、と言つても、写真とスケッチなどの作業だと思った。植物学者でもない普通の人気が、自分の身の回りに生える草々に注目し、その生命体を追い求めしていく。何かとも意義のあることのように思えたのである。

「島崎君よお、これはおもしろいよ。身のまわりの雑草をたくさん調べて、本にまとめるよ。本当にいいよ。植物の、学問上の新発見を目指すんだよ。」「やつと果たせたよ。」と言つて手渡

しづつわかつてきたのである。そして、こちらが知らなかつただけで、それらの草々が、小さな生命体を精一杯輝かせ、生きて、そして土に返つていくのである。

そんなことを観察していくと、いつの間にか童心がよみがえつて、次第次第に雑草の世界に引き込まれていつたのであった。

その頃、私は何かの用事で彼の家に立ち寄つた。そこで、彼のコレクション、と言つても、写真とスケッチなどの作業だと思つた。植物学者でもない普通の人気が、自分の身の回りに生える草々に注目し、その生命体を追い求めしていく。何かとも意義のあることのように思えたのである。

「島崎君よお、これはおもしろいよ。身のまわりの雑草をたくさん調べて、本にまとめるよ。本当にいいよ。植物の、学問上の新発見を目指すんだよ。」「やつと果たせたよ。」と言つて手渡

しづつわかつてきたのである。そして、こちらが知らなかつただけで、それらの草々が、小さな生命体を精一杯輝かせ、生きて、そして土に返つていくのである。

そんなことを観察していくと、いつの間にか童心がよみがえつて、次第次第に雑草の世界に引き込まれていつたのであった。

その頃、私は何かの用事で彼の家に立ち寄つた。そこで、彼のコレクション、と言つても、写真とスケッチなどの作業だと思つた。植物学者でもない普通の人気が、自分の身の回りに生える草々に注目し、その生命体を追い求めしていく。何かとも意義のあることのように思えたのである。

「島崎君よお、これはおもしろいよ。身のまわりの雑草をたくさん調べて、本にまとめるよ。本当にいいよ。植物の、学問上の新発見を目指すんだよ。」「やつと果たせたよ。」と言つて手渡

## 「やすらぐ」ということ

評論家 芹沢俊介

このところ「やすらぐ」ということを考え続けている。やすらぐといふことはどういうことだろう。どういう心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

このところ「やすらぐ」ということを考え続けている。やすらぐといふことはどういうことだろう。どういう心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

このところ「やすらぐ」ということを考え続けている。やすらぐといふことはどういうことだろう。どういう心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

このところ「やすらぐ」ということを考え続けている。やすらぐといふことはどういうことだろう。どういう心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」という心の状態を指しているだろう。ぼんやり頭をめぐらしているとき、次の文に出会った。

「一緒にいても、それは互いのためにはいるのではなく、ただ自分たちが『あるがままにある』のだった」  
 (ドナ・ウイリアムズ『自閉症だったわたしへ』新潮文庫)



## 季節のおとずれ 竹花家

四月に入り夏のような暑い日が数日続き、子どもたちもあまり足を踏み入れることのない雑草が生え始めている殺風景な庭を、子どもたち(大人も!)がくつろげる空間にするためにウッドデッキを作りました。庭の形と出来上がった際のイメージを重ね合わせながら、杭を打ち、水平を計りながら縦板を張り、最後に横板を張り四、五日程かけて一応完成!

さつそく子どもたちは跳んだりはねたり、余った木材で遊んだりと踏み入れなくなるような空間には変わったようです。

週末の夕方には本園の各グループの子どもたちを呼び、バーベキューをしています。グループで順番を待っている子どもたちは「私のグループはまだー、早く行きたい」などと言ってくれるようになりました。

継続するということが自分の課題でもあるのでデッキの手入れや草取りなど、三日坊主にならない

様にするために、子どもたちの楽しい時間を計画していきたいです。

小西 剛史



河のほとりで

倉澤家

五月になつたばかりのある土曜日に戻ると、庭に大きなテーブルが置かれていました。そのテーブルの両側にはイスも付いていて、テーブルのまん中にはパラソルを立てるための穴も開いていました。

このテーブルは、実は私が通販で衝動買いを・・・したわけではありません。光の子どもの家が世界に誇る(?)ある時は大工さん、ある時は植木職人、そしてある時はペンギ屋さんなど、あらゆることを一人で見事にこなす五木田さ

人の作品なのです。子どもの家になつた方もいるかもしれません

が、それはそれは立派なものでした。

次の日の日曜日、さつそく外で朝食・・・と洒落てみました。

環境が変わるだけで、いつものトーストやサラダがなぜかおいしく見えました。

大きなグリーンのパラソルを立てるまで六本木(?)のカフェの大

きなグリーンのパラソルを立てるまで六本木(?)のカフェの

ようです。

娘はこの場所が大変気に入つた

日、外出していた私と娘が倉澤家に戻ると、庭に大きなテーブルが

で衝動買いを・・・したわけではありません。光の子どもの家が世

界に誇る(?)ある時は大工さん、ある時は植木職人、そしてある時

はペンギ屋さんなど、あらゆることを一人で見事にこなす五木田さ

せんが・・・。

天気の良い日の休日の朝食とランチは外で・・・が定番になります。

ある倉澤家です。是非みなさんも「カフェKURASAWA」へ

おいで下さい。

倉澤 智子



子どもたちの季節

仙道家

桜の開花が待ち遠しい三月末、新体制に向けた引っ越しが行われました。ばたばたとした新年度のはじまりでしたが、徐々に落ち着きを取り戻しています。

窓から見える桜の大木は満開を向かえ、先日はその桜の下で花見がてら子ども達と昼食をとりました。青空の下でのご飯は心を躍らせ、いつもよりも楽しい食事が出来ました。桜の間からさす木漏れ日も何気ない会話も、普段より心地の良く感じました。これ以上の贅沢があるでしょうか。

風も穏やかになり過ごしやすくなった昨今、幼稚園では入園式。

小学校・中学校・高校では入学式がてら子ども達と昼食をとりました。青空の下でのご飯は心を躍らせ、いつもよりも楽しい食事が出来ました。桜の間からさす木漏れ日も何気ない会話も、普段より心地の良く感じました。これ以上の贅沢があるでしょうか。

風も穏やかになり過ごしやすくなつた昨今、幼稚園では入園式。

小学校・中学校・高校では入学式

## 原田家日記

## 新任職員挨拶

さわやかな季節になりました。新年度も始まり、子どもたちも各々入学を迎えたり、学年がひとつ上がつたりしました。また、退職した職員もあり、各々の家のメンバーも替わりました。原田家は、今まで担当していた鈴木晶子がフ

リーになり、新任の和田が引き継ぎ、佐藤家がら小野姉妹、北斗が引つ越してきて、フリーだった池田が担当し、穴水指導員も加わりました。今まで慣れ親しんだメンバーや家と離れ、子どもたちは悲しい、寂しい思いもしています。

ゲループの子どもたちは、早速豊かな個性と明るさを見せてくれています。高三でみんなのまとめ役(ボス)である育実。クールさと優しさを持つサッカー少年の一

月から原田家の一員になりました。学生時代とはあまりに違う環境や起床時間、生活のリズムに適応するのに手一杯ですが、子どもたちの様々な表情に出会えて充実した毎日を過ごしています。

ゲループの子どもたちは、早速豊かな個性と明るさを見せてくれています。高三でみんなのまとめ役(ボス)である育実。クールさと優しさを持つサッカー少年の一月から原田家の一員になりました。学生時代とはあまりに違う環境や起床時間、生活のリズムに適応するのに手一杯ですが、子どもたちの様々な表情に出会えて充実した毎日を過ごしています。

三歳の和良から高校三年生の育実までが安らぎ、楽しい生活を創つていきたと願っています。

長長い目を持つついで、それでも新しい環境で、メンバーで楽しく生活していこうとする子どもたちの前向きなエネルギーに圧倒されてしまいます。

池田 裕子

## 光の中で

佐藤家

子どもも職員の移動を含め、引

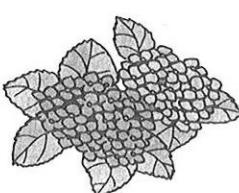
つ越しから始まつた今年度、佐藤家は中高生の多い家となりました。三歳が一人、小学生が三人、他二

人の中学生と四人の高校生、また

最近は開き直つて、上手くやろ

うとしても子どもの目は誤魔化せないので自分の全存在をかけて対峙するのが一番だと、自分に言い聞かせている次第であります。

鈴木 洋一



## 新任職員挨拶

新任職員の和田優右子です。四

月から原田家の一員になりました。学生時代とはあまりに違う環境や起床時間、生活のリズムに適応するのに手一杯ですが、子どもたちの様々な表情に出会えて充実した毎日を過ごしています。

ゲループの子どもたちは、早速豊かな個性と明るさを見せてくれています。高三でみんなのまとめ役(ボス)である育実。クールさと優しさを持つサッカー少年の一月から原田家の一員になりました。学生時代とはあまりに違う環境や起床時間、生活のリズムに適応するのに手一杯ですが、子どもたちの様々な表情に出会えて充実した毎日を過ごしています。

和田優右子

プ・リ・ズ・△



### 悼 大塚 吉春 様

光の子どもの家後援会前会長、大塚吉春様のご逝去にあたり弔意を表します。  
生前の御厚意を心より感謝申し上げます。

光の子どもの家 理事長 飯田 進  
施設長 田中 郁夫  
職員一同

### 日誌抄 = 子どもと創る暮らしの風景 = 2009年2月1日～2009年3月末日

2009年2月現在

幼稚5名 小学生17名 中学生6名 高校生7名 措置外  
4名 計39名

8日 省二が白鷗大学合格 新たな扉を開いた省二に心を込めてお祝い

菅原哲男スパーヴァイザーが米ケンタッキー州立大学博士課程で講義 続いてインディアナ州立大学修士課程で講義 実践の足跡を辿り「日本の児童福祉の現状と課題」で講義

10日 浩伸と由子がそれぞれ高校前期合格 2008年度の進学希望者は全員合格となった

13日 東大宮教会山ノ下恭二牧師による夕礼拝説教奉仕 感謝

16日 小学校との定期連絡会 先生方の貴重なお時間を頂き子ども一人ひとりについて丁寧な話し合いの機会を設ける 感謝  
合格お祝い会 省二 浩伸 由子の頑張りを見ていた後輩たちが3人の照れてはいたが誇らしげな顔をまぶしそうに見つめていた

17日 施設長会へ田中施設長 子どもたちに大学の門戸を開きたいとのことで東京国際大学村井先生が出席 施設側から多数意見が述べられる

18日 華美就職内定 喜びと同時に担当者は華美がいよいよ社会へと出発していくという思いとこれまでの日々に胸が詰まる 教会学校等で長年ご支援下さっている東大宮教員西貝洋子さんへ感謝状と記念品をお贈りする

28日 卒園生である春香の結婚式へ菅原と倉澤他元職員たちが出席 幸せそうな二人を皆で心から祝うとても良い式だった東埼玉バプテスト教会木田牧師による夕礼拝説教奉仕 感謝

（2月の物品ご寄贈者）

ステラ 立正校正会古河支部 全栄企画株式会社 真田明恵  
松本明子 小松原美砂子 石森幸子 小寺政子 他多数の御各位様

3月

7日 省二と華美 高校卒業

13日 鈴木重義先生が職員礼拝説教奉仕 また杉本さんが子どもたちに絵本の読み聞かせをして下さる 感謝

14日 第13回出発の会 卒園生の省二と華美にたくさんの励ましとお祝いを頂く 町長はじめ町議の方々や後援会ほか多数の方々がご出席下さり餞の言葉をかけて下さった 2人からも心からの感謝の言葉 お支え下さった全ての方々に感謝

浩伸と由子 中学校卒業

24日 誠一 早希 真祐 真理 小学校卒業

28日 第88回理事会

（3月の物品ご寄贈者）

杉山和俊 松本明子 斎藤慎一郎 比企敦子 木村郁子 川浪恵美 川口雅資 他多数の御各位様

☆年度末も多くの方々に支えられました 新年度も皆様のお支えによって歩みが進められております 今後ともよろしくお願ひいたします（洋）



☆新学期始まって早二ヶ月が経ち子どもたちもそれぞれの学校生活に慣れてきたようです☆しかし部活に追われる新中学生は少し疲れ気味☆よしやるぞと活力が漲るような食事と十分にやすらげる家を目指して生活を創つております☆一口に生活とは言つてもその捉え方は千差万別☆各職員が各自の「生活」という概念を確認し磨き合い光の子どもの家の生活に更なる豊かな彩りを添えられたと願っております☆去る四月八日に光の子どもの家後援会前会長である大塚吉春さんのご葬儀が執り行われました☆いつも元気を下さった温かい笑顔を思い起こしました日頃より一番近い場所から御支援下さつていいる後援会をまとめていらつしやつたお働きに心より感謝申し上げます☆心より平安をお祈り申し上げます☆今年度の高校三年生は三名☆彼らの進路選択にあたって光陰矢のごと過ぎ行く日常に棹を差し今何をすべきかを熟慮する必要があります☆それぞれの道へ進まんとする三人が来年の三月に胸を張つていられるよううにと祈ります☆今後とも更なるご理解ご支援をよろしくお願ひいたします☆

（洋）